

細江カトリック教会だより 2月号

〒750-0016 下関市細江町 1-9-15

☎083-222-2294 ☎083-222-0970

広島教区テーマ：平和の使徒となろう

チャレンジ新しい福音宣教 ～わたしをお使いください～

—家庭へのチャレンジ—

神の慈しみの祝いと経験

2月に入ったと思うのも束の間、10日はもう灰の水曜日です。今年は復活祭が早いため、四旬節も早く始まります。

さて、教皇フランシスコは「この聖年の四旬節を、神の慈しみを祝い経験するための恵みの時として、一層深く味わいながら過ごすことができますように」と、慈しみの特別聖年を公布する大勅書の中で書いておられます(『イエス・キリスト、父の慈しみのみ顔』17)。そのご意向にそって、特別に神の慈しみと憐れみに思いを馳せることにしましょう。

かつて教皇ヨハネ・パウロ2世が回勅『慈しみ深い神』で説かれたように、神の慈しみは主イエスの死と復活において頂点に達します。「ほうぼうを巡り歩いて人々を助け、ありとあらゆる病気や患いを癒された方は、逮捕され、侮辱され、罪の宣告を受け、鞭で打たれ、いばらの冠をかぶされ、十字架につけられ、ひどい苦しみを受けて死んでいかれました」(7)。

このイエスのやさしい人となりは、神の慈しみを私たちに告げてくれます。罪の結果もたらされた苦しみと死の運命を、イエスは私たち罪びとと共有し、私たちと共にその惨めな最期を遂げたのです。それは、私たちが人生の苦しみの中にも、とりわけ死の恐怖と孤独の中にも、これを一緒に担ってくださる方に慰めと力を見

いだすためでした。

しかも、それだけではありません。信仰をもってイエスの苦しみと死のできごとを黙想するならば、私たちはさらに深く、神の慈しみの神秘に引きこまれます。「罪とは何のかかわりもない方を、神は私たちのために罪となさいました。それは、私たちがその方によって神の義となるためです」(2コリント5・21)。イエスの十字架上

でのいのちの奉献は、いわば私たちに代わって、神の正義から当然に帰結される断罪を一身に受け、私たちを贖いだすできごとでした。こうして私たちは、罪と死への隷属から救いだされ、神の子のいのちにあずかる者としていただいたのです。イエスを死者の中から復活

させられた神は、イエスと結ばれた私たちをも共に、永遠のいのちの交わりへと招いてくださいました。これは、世の何ものにも勝る幸せではないでしょうか。

言葉で表現しようとするとなんか難しくなってしまうのですが、この救いの神秘は理屈で理解するものではなくて、むしろ祈りと生活の中で経験するものです。この四旬節には、神が主キリストを通して、私たちにどれほどの愛を注いごださったかを、静かに味わいましょう。

百瀬 文晃 神父

挿入画はマザッチオ

「ゲッセマネの園のキリスト」1424-5



洗礼式 2015年12月25日

マリア・フランシスカ眞浦洋子さん
受洗おめでとうございます！

***受洗者の喜びの声**

昨年のクリスマスに洗礼を受けました。百瀬神父さまやシスター内藤からたくさんのお話を教えていただき、とても感謝しています。

主人が亡くなり、もうすぐ2年になります。結婚や子育ての中で幾度となく、教会への道筋はあったのですが、なかなかたどり着くことができませんでした。

今現在こうしているのは、主人が教会への道を照らしてくれたのだと思います。子どもたちも今、洗礼を受けるために勉強をしています。早く聖家族として神さまに向かって歩んでいけるよう努力していきたいと思います。

新地筋川地区 眞浦 洋子

***代母・・・神に感謝**

マリア・フランシスカ眞浦洋子さん、受洗おめでとうございます。天国のご主人もきっと喜んでいらっしゃることでしょ。私の代母はテレジア小浜秀子さんです。今、思い出せば不思議な出会いが小浜のおばちゃんがたくさんあり、知らず知らず神さまに導かれ、紀さんに出会いイエズスさまの前につれてこられました。いろんなことがありましたが、共に歩んでこられて今は感謝の気持ちでいっぱい。これからも神さまに愛され、助けられて、

眞浦さんや教会の皆さまと共に歩んでいきたいと思ひます。

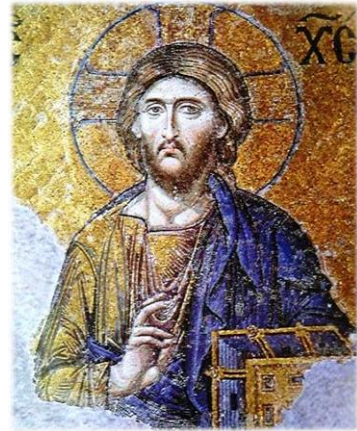
もちろん家族が大切。神さまから与えられた家族が大好き。神に感謝！

新地筋川地区 大水 三代

キリスト教一致祈禱集会

1月22日(金) 10:00

「主の力あるわざを、広く伝えるために招かれて」ーペトロ 2-9



「ひとつになろうキリストのうちにみなひとつになろう・・・」の聖歌が流れる中司式者とその集会のシンボル(聖書・塩・ろうそく)を持った朗読者が祭壇の前に進み出る。そして、百瀬神父さまの司式で「暗闇の中から光の中へと招き入れてくださった方の力あるわざを、あなたがたが広く伝えるために・・・」と、集会が始まりました。

アルティリョ神父と長府教会の皆さま、カトリック彦島教会、日本キリスト教団の彦島教会・長府教会、山の田福音教会、日本キリスト教会の皆さま 約60名の参加でしたが、下のホールでの分かち合いでは少ない信徒で何とかやっている等、よくお話ししていただきました。

キリストの内に集まって、キリスト者同志の分かち合いの機会を持つことができ、とても良かったと思ひます。



2016年 さる年の方々の抱負

＊「聖なるみことばをこの世に伝えます。わたしたちは地の塩、世の光となり、主の力あるわざを告げしらせるという一つの使命を共有しています。この使命を分かち合うしるしとして」みことばに耳を傾け、一人ひとりが塩を手にとりて味わい、この一つの炎からろうそくに火を灯す。



＊各教会の紹介とお茶のひと時。ぜんざいとお菓子のおもてなし。

＊今年の抱負は・・・

今年はサルもの追わず
去りゆくものに心を奪われずに、日一日を大切に、静かに神様のみ言葉に耳を傾ける年でありたいと思います。

そして、夫を愛し支え、子どもたちや孫達の為に祈り、全ての出来事に感謝の心で年を重ねていきたいと願っています。

新下関地区 松本 三枝子



＊申年にちなんで一筆をと・・・

私の苦手とする部分でもあります。
今年は年女と言っても昨年と特別に変わりはないでしょう。小学6年生の時に洗礼を授かって、今日まで私なりに信者の道を進んで来たと思います。

申年は私と主人の年です。主人は洗礼は受けてないけど、少なからず私の事を理解してくれています。

私の年にちなんで、今一度考え、日々の生活に主のお恵みを感謝し、皆さまの助けをいただきながら、イエス・キリストと共に歩いて行く年にしたいと思います。

新地筋川地区 和田 美佐子



結婚式・・・慶びの日

2015年12月5日(土)

新郎 久保光太さん

新婦 岡村美和子さん

司式司祭 ジェームス・ボニー神父

2月6日、13日、20日、3月5日

(10:30~12:00) カトリックセンター

講師; 百瀬文晃神父



* 永遠の愛の誓いと指輪交換。



* 皆さまの祝福を受けて退堂する。
 神さまの力強い愛に助けられ、どんなことにも二人が互いに心を寄せて支え合い、
 これからの結婚生活を築いていけますよう
 ...祈ります。



お知らせ

* 平和アピール 1981 *

テーマ「平和を歌おう 語ろう 創ろう」

日時; 2月21日(日)

11:00~15:00

場所; 山口天使幼稚園2Fホール

講師; シスター山本きくよ

(下関労働教育センター)

* キリスト教入門講座 *



* 四旬節黙想会 *

日時; 2月28日(日)

講師; 金 楹洙 (キム ヨンス) 神父

(倉敷教会)

タイムスケジュール

9:00 講師紹介

9:05 第一講話

9:50 休憩

10:00 第二講話

11:00 ミサ

12:00 昼食

12:45 告解と祈り

14:00

* 弁当申込み受付

教皇フランシスコ メッセージ

病気、とりわけ重い病気は、つねに人間の存在を危機にさらし、根本的な問いを生じさせます。...そのような状況では、神への信仰が試されますが、その一方で信仰がもつあらゆる前向きな力が明らかになります。それは、信仰によって病気や痛み、さらにはそれによる問題が無くなるからではありません。信仰は、わたしたちが体験していることのもっとも深い意味を見いだすための鍵を与えてくれるからです。病気は、十字架を担ってわたしたちの傍らを歩いておられるイエスにさらに近づく道になりうることを、その鍵はわたしたちに教えてくれます。...

2月11日「世界病者の日」より
 全文は聖堂入口の卓上に置いている教皇メッセージのプリントを読んでください。